

「活動・参加を促進する訪問作業療法の基準づくり」 研究経過報告



岩田祐美氏

研究の進捗状況と今後の予定

岩田 祐美

(聖隷訪問看護ステーション宝塚, 作業療法士)

第13回作業療法ジャーナル研究助成をいただき、研究を実施しております。

研究のテーマは「活動・参加を促進する訪問作業療法の基準づくり」です。訪問作業療法を実践しているOTは、個々の経験から理想像や規範をつくり上げて、それらに順じて日々実践しているのではないかとこの仮定に基づき、その内容をインタビューから明らかにして臨床実践の参考となることを目的としています。

現在は、先行研究となった「活動・参加を促進する訪問作業療法の実践知」研究の協力者9名のうち、同意の得られた5名に再度インタビューを実施し、逐語録を作成している最中です。また、先行研究のデータから、本研究に関

連する言葉を再度まとめて第14回日本訪問リハビリテーション協会学術大会にて発表しました。発表後は数名のセラピストの方々からご意見やご指導をいただくことができました。ありがとうございました。

今後、先行研究の協力者ではない、新たに本研究にご協力いただけるOTの方々へのインタビューを継続し、その後分析を進めていく予定です。分析は質的分析を行う予定で、共同研究者である田島明子教授の指導を得ながら実施していきます。新たにご参加いただける協力者も募集しています。ご協力いただける、訪問作業療法を実践しているOTの皆様は、ぜひインタビューに応じていただけると幸いです。